

目標管理型評価ワーキング・グループ

＜開催状況＞ 6/2(第8回)

＜平成29年度における主な検討事項＞

目標管理型評価の事前分析表の作成に当たって、ロジックモデルを活用することの意義と課題を整理するため、ロジックモデルを試行的に作成し、それぞれ以下の観点に沿って検討

「意義」

- ・ 施策の「目的－手段」の関係が図表によってわかりやすく把握できる
- ・ 設定されている測定指標が施策のどの部分を測定しているのかが整理できる 等

「課題」

- ・ 多数の達成手段が設定されている施策への対応
- ・ 達成手段、アウトプット及びアウトカムが複雑に関連している施策への対応 等

＜平成29年度の取りまとめの方向性＞

改善方策としてロジックモデル活用の意義と課題を取りまとめ、各府省への横展開・普及を図る

規制評価ワーキング・グループ

＜開催状況＞ 7/6(第13回)※持ち回り開催

＜平成29年度における主な取組事項＞

28年度に取りまとめた「規制に係る政策評価の改善方策」に基づく制度改正が10月1日に施行予定
⇒ 各府省における改善方策に基づく評価の実施状況のチェック

- ・ 評価書の内容審議(遵守費用の金銭価値化・定量化、事後評価の実施)
- ・ 簡素化した評価手法を使う場合の事前確認

規制に係る政策評価の安定的運用及び評価手法の向上に寄与

公共事業評価ワーキング・グループ

＜開催状況＞ 5/16(第6回)、7/3(第7回)

＜平成29年度における主な検討事項＞

○ これまでの審議経緯を踏まえ、以下の方針により取組を実施

- ① 完了後の事後評価の効果的な活用とその推進
- ② 事業効果等の的確な把握・分析の実施
- ③ 事業区分間の比較分析等を通じた、より効果的な評価手法の検討

○ 「完了後の事後評価」について、平成28年度の「中間取りまとめ」を踏まえ、その効果的な活用・推進に向けた具体的な改善方策を検討[上記①関係]

⇒ 事例研究、完了後の事後評価未実施(未導入)の事業における課題等の把握など

○ 公共事業評価の点検を実施[上記②、③関係]

⇒ 事業区分間の共通性・類似性(整備施設、事業効果等)に着目し、9事業区分20件程度を選定し重点的に点検。WGの知見も得つつ改善策等を検討

⇒ 現地調査機能(管区行政評価局)を活用した情報収集(平成29年8月～11月)

＜平成29年度の取りまとめの方向性＞

完了後の事後評価の改善方策の最終的な取りまとめを行い、公共事業評価の質の向上に寄与